

# センサーネットワークを活用したPHRとEHRの統合による個別化糖尿病疾病管理プログラムの開発

松久 宗英

徳島大学 糖尿病臨床・研究開発センター

研究開発期間：平成27年度～平成29年度

## 1 研究開発の概要

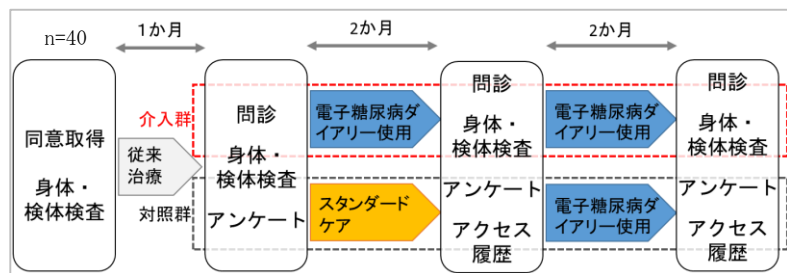
糖尿病発症早期からの生活習慣の改善を実現するため、患者自身の病状に対する理解と治療への動機付けは不可欠である。限られた診療時間や医療資源の中でも、患者自身が病状を把握でき、個別化した最適な療養指導を支援するツールやプログラムが求められる。そこで血糖測定器や体重計、歩数計などのセンサーネットワークを活用したPHR(Personal Health Record)と、徳島県のICT地域医療連携基盤(ToDo-NET)に蓄積された診療情報(EHR: Electronic Health Record)とを統合させた、個別化糖尿病疾病管理プログラムに用いるPHR「電子糖尿病ダイアリー」を開発し、ICTを活用した糖尿病患者の自己管理状態向上を実現する。

## 2 期待される研究開発成果及びその社会的意義

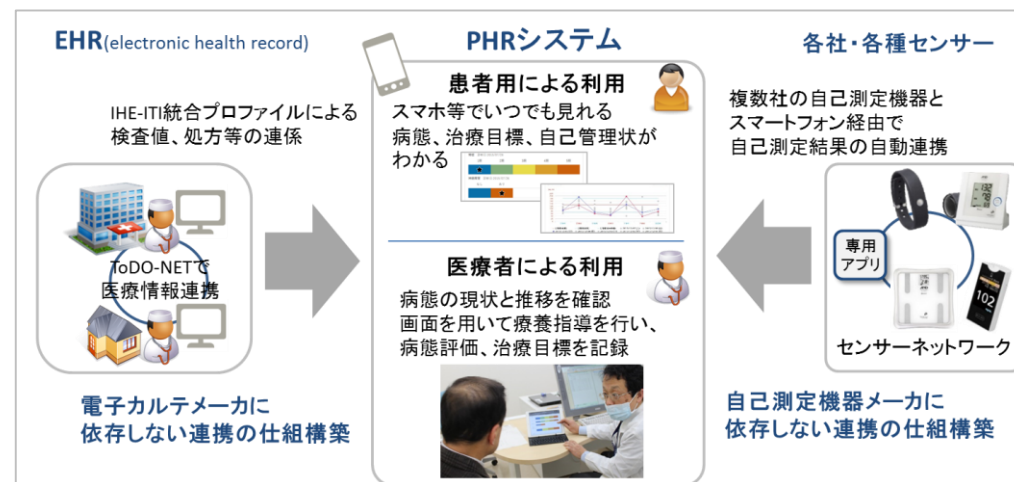
糖尿病患者に対する自己疾病管理支援コンテンツを提供するサービスが実現することは、医療資源が限られる地方においても、在宅医療から介護を含む広範囲な糖尿病患者に対し、治療の均てん化が実現し、合併症の発症阻止から重症化予防までが可能となり、健康寿命の延伸に資すると考えられる。また、ToDo-NETのEHRとPHRの連係を実現し、その有用性は示すことで全国で展開するICT地域医療連携基盤の新たな活用法を提示し、全国で展開するICT地域医療連携の利用の促進につながることを期待される。

## 3 研究開発の進捗状況と今後の予定

平成29年度は、これまでに機能充実を図ってきた電子糖尿病ダイアリーの有用性を検証する臨床研究を、ToDo-NETを活用して多施設共同で実施する。臨床研究を通じて個別化糖尿病疾病管理プログラムの臨床的有用性に加え、実用化を図る上で必要なサービスの課題(利用者、医療者の負担など)、技術的課題の検討を行う。



図：実施予定の臨床研究概要



図：開発したPHRシステム概要